

ほどがやニュース 53号



発行：認定NPO法人 WE21ジャパン・ほどがや

〒240-0001 保土ヶ谷区川辺町2-2-A103 Tel/Fax334-5140

ホームページ <http://www.we21japan.org>

発行責任者 黒木宏子

♡ 「福島ぽかぽかプロジェクト in 猪苗代」でボランティア ♡

～昨年11月21日から1泊2日で、国際環境NGO/FoE Japan の
原発被災者保養プロジェクトのボランティアに7人で参加しました～

「除染効果があがるまで、せめて子どもたちを一時避難させて！」という福島のお父さん・お母さんの切実な声に応じてこのプロジェクトは始まりました。WE21ほどがやでは、毎月11日の売上げの30%と3月11日の売上げ全額を寄付しています。

今回は9家族、26人(内子ども18人)が参加され、近隣散策で落ち葉や草に触り、公園では思いっきり走り回り、温泉に入り、安全な食材で食事をし、お楽しみ会では歌や踊りも。子どもが寝たあとはお母さんたちが足つぼマッサージをしたり、甲状腺がんや食材について子育ての不安や悩みを話しあっていました。

2日目にはボランティア団体「ふらいパンダ」さんが子どもたちを上手にリードして、みんなで卵を泡立てるところから始まり、見事な絵本『ぐりとぐら』の巨大カステラが焼き上がりました！素敵な夢の世界の実現に、私たちも幸せな気持ちになりました。私たちもクッキングマザーとして大活躍。40～50人分の食事作りをしました。チリビーンズ、ポテトサラダ、餃子…などなど4食分。切り方や手順など喧々諤々、大笑いの連続でみんな免疫力アップ。

わずか数日の保養でも、笑顔と元気を取り戻していく親子を見て、この活動を支援していてよかったと思いました。(贅川恭子)



『ぐりとぐら』の巨大カステラ



餃子を作るWE21ほどがやの参加者

シェアハウス マミーズタミーに到着。

～約束ごと「静かにしなさい」と言ってはいけない～
この約束ごとは、子どもたちにとって格段に過ごしやすい環境になるとの事でした。

猪苗代スキー場がみえる自然溢れる大地に、若いママと子どもたちは、ガサガサと落ち葉を踏みしめ拾い、隠れるように咲いていたクローバーを探し、長い枯れ枝を振りかざし、汚染の事を忘れるホッとした瞬間でした。

私達は、夕食の支度にとりかかりました。安心、安全の食材で、味付けも一発できまり、ベテランママの腕を発揮しました。翌日は若いグループによるイベント「巨大カステラ作り」、私達のクリームシチューと共に、思いっきりカステラを頂きました。

現地の人たちとふれあい、話し合い、同じ釜の飯を味わい、心地よいボランティアでした。

次のボランティア、あなたも参加しませんか・・・(渡邊廣子)

福島県内であっても、猪苗代は磐梯山に遮られていて、放射線量が低いと聞いていたので、本当かどうか確かめるべく簡易型線量計を持参し、こっそり計ってみたら、本当に我が家と変わらなかった。子ども達の為にはもっと長期に保養できればいいと思うし、又、その費用等を国とか東電が負担すべきなのに・・・とか思うこといろいろ。無邪気にはしゃいでいる子ども達に接し、元気に育ってほしいと祈るばかりです。(大窪昭子)

シェアハウスでの7人の仲間と現地のお母さん達もまじえて、お喋りをしながら 笑いの絶えない楽しい食事作りでした。食事もお代わりが続出、大好評でした。

しかし、現地ではまだ放射線量の高い場所もあり、外での子ども達の遊ぶ場所も制限されるなど、課題が多く残されています。(中嶋登代子)

◆映画「日本と原発」を自主上映

～多くの感動の声がよせられました～

この映画は70歳のベテラン弁護士が初監督した、原発の不合理を解き明かす映画です。この映画を見たWEほどがやと旭のメンバーが是非にとの想いから実現、1月9日保土ヶ谷公会堂で2回上映しました。290人の参加で、103人の人が感想を書いて下さいました。



保土ヶ谷公会堂

♪チケット収入は、経費分を除き、映画を製作した「さくら共同法律事務所」と、支援先の「認定NPO法人 FoE Japan 福島ほかほかプロジェクト」に寄付いたします。



右は受付の風景

感想の一部をご紹介します

- 福島の人々の苦悩や怒り、嘆きが直接的に響いてきた。
- 原発の事で知らなかった事実や日本の社会の問題を改めて感じた内容で勉強になった。
- 命、そして人類の未来を奪う原発は絶対に要らないという思いを新たにしました。自然エネルギーの取り組みを広めていきたい。
- 今日ほど映画の中で語られる政治家の言葉が虚しく響いたことはありません。このドキュメントを特に若い人たちに沢山観てもらえることを望みます。
- 日本の将来や未来、子どもたちのこれからと原発を考える良い機会を与えられ感謝です。

- 原発はなくても電力は賄えるのに、なぜ原発を再稼働するのかと思っていた。原子力村の構造を知り腑に落ちた。脱原発に対して自分は何ができるか考えたい。
- この映画を中学生、高校生や若者に発信できるように、時間がとれる春休みや夏休みなどに上映していただきたいものです。
- 是非続編の上映会も企画してください。よろしくお願いいたします。

(注：続編とは同監督による「日本と原発4年後」)

◆WE講座のお知らせ◆

1. 「みんなで布チョッキン」(認定NPO法人 幼い難民を考える会) カンボシアの子どもにボールや人形を贈るワークショップ
2月24日(水) 9:30～ 保土ヶ谷公会堂2号会議室 参加費:500円 持ち物:裁ちばさみ 要申込(ショップまで)
2. リメイクを通じて、これからの「逝き方」と「生き方」を考えるワークショップ
3月19日(土) 13:30～16:00 ほどがや市民活動センター アワーズ 無料(定員30名) 要申込(ショップまで)
3. 英国オックスファム訪問の報告 「日本のチャリティショップの課題と展望」
5月15日(日) 13:00～14:00 ほどがや市民活動センター アワーズ (WE21ジャパン・ほどがや定期総会の前)
講師: 贄川恭子さん(WE21ジャパン・ほどがや理事)
チャリティショップ発祥地の英国オックスファム訪問の報告と日本で広がり始めたチャリティショップの課題と展望を考えます

◆3・11をわすれない キャンペーン

♪ 3月11日の両店の売り上げは全額「認定NPO法人 FoE Japan 福島ほかほかプロジェクト」に寄付します

星川店

創業祭 全品半額セール開催します
(100円以上 リメイク品除く)
3月9日(水)～11日(金)
感謝をこめて!!

天王町店

ショップにはフォートジャーナリズム誌「DAYS JAPAN」を置いてあります。その中には福島の現状が書かれています。ぜひ、ショップで見てください。
天王町店では東北支援の品物を仕入販売します。

♪♪ 3月11日はショップにきてこの活動に参加しましょう!! ♪♪

好評!
定価講習会

リメイク小物づくり: 毎月第1水曜日 13:00～16:00 参加費 300円(材料費別途)
裂き織り: 毎月第2木曜日 13:00～15:00 300円(材料費別途)
布ぞうり: 毎月第3水曜日 13:00～16:00 300円(材料費別途)

特定非営利活動法人 WE21ジャパン・ほどがや は、認定NPO法人です

WE ショップ星川店 Tel/Fax:045-334-5140 10:30～17:30 休業日: 土曜・日曜・祝日
WE ショップ天王町店 Tel/Fax:045-333-6336 10:30～17:30 休業日: 水曜・日曜・祝日